

曲川橋周辺に桜の植樹



本年度曲川橋周辺整備事業の一環として計画されていた桜の植樹を1月10日(日)に行いました。

桜の苗木は全部で6本。昨年度もお願いした小佐々緑化園(吉井町)にお願いしました。昨年度植樹した桜は「陽光」という種類で、赤みの強い桜でした。今年は全て「ソメイヨシノ」を植えました。

植樹した場所は、上流側に2本、下流側に4本。地域の方に声をかけていただきましたが、花見が出来る日を楽しみにしているということでした。

もう一本、別の花木を植えました。それはジャカランダ

という熱帯地方に咲く花で、世界三大花木にも数えられています。

実は、私(末永)のネパールの知人が訪日した際お土産にくれたのがこの花の種でした。家で蒔いたところ10本ほどが発芽しました。そのうちの一本がこれです。

時折、ネパールで写したジャカランダの花を眺めながら、この曲川で花咲く日を楽しみにしています。



上流側に安全柵を設置 21年度曲川橋周辺整備事業を終える

1月26日、曲川橋上流域に安全柵を設置しました。設置した場所は、ちょうど吉井町と江迎町の境になる川が流れ、普段草に覆われていて、大変危険になっています。イベント参加者等の事故防止のために計画したものです。

当周辺にコスモスの種子をまいたのが9月でした。上記桜の苗木を植え、そしてこの安全柵の設置、これで、平成21年度の佐世保市のまち特事業申請の「曲川橋周辺整備」が終了しました。その経費は下表のようになっています。



○決算書(ただし確定前)

項目	予算金額	細目	予算	決算	備考
事業費	42,000	花木苗	24,000	24,000	小佐々緑化園
		種子代	3,000	5,250	井手種苗店
		肥料代	5,000	8,130	井手種苗店
		他消耗品	10,000	4,940	整備用具等
	小計		42,000	42,320	

この間、耕運機による整地(1回)、草払い(述べ11回)、草とり(5回)などなど、今年もたくさんの方による整備作業に感謝。

11月定例会報告

五蔵大池周遊ウォークコースの下検分

以前から「五蔵大池を中心にした周遊コースが作れないのか」という意見が出ていました。11月の定例会はそのコースの下検分を行いました。(11月27日)

13:00、五蔵の里に集まったのは5人。和田さん、藤原さん、末永2それに砕石工業からも出迎えていただきました。実は吉井砕石工業から朝8時ごろに電話をいただいていた。その内容は、「皆さんが来られたら発破を架けるから」というものでした。少人数になることが予測されたので、恐縮しましたが、発破によって岩が崩れ落ちる風景なんてめったに見られるものではありませんので恐縮しながらもお願いすることにしました。

砕石工業では、採取現場の道を歩きました。黒々とした柱状の岩がむき出しになっており、又、火山灰の後でしょう、赤い帯状の地層が見えました。

やがてサイレンが鳴って、発破がさく裂。岩がガラガラと砕け落ちるさまは、まるで花火の見物のように、知らず拍手が起るものです。

砕石工業は、石の採取にとどまらず、アスファルトの再生や廃材(たとえば木の根っこや竹など)のリサイクル事業を進めておられます。その現場も詳しく説明していただきました。

砕石工業から**大蜂農村公園**へ降りました。大蜂池は水が豊富で、ついカヤック等の遊びに想像がつながりました。

大蜂公園から五蔵大池までは15分ほどで着きました。**五蔵大池の周遊道**は見事に草がはらわれ、大変歩きやすくなっていました。ただ、真新しいイノシシの堀跡やらが妙に気になりました。この時期の大池は花ひとつありませんが、それでも葉の落ちた秋楡の群生は珍しい光景でした。

五蔵の池からスギ・ヒノキの林道を通り、約40分で平和祈念館[天望庵]に到着。藤原さんに迎えられ、井手(美)さんも合流し、ホッとおいしいお茶をいただきました。

このコースに要した移動時間は120分でした。これに昼食や休憩、また説明などを入れると200分くらいになるのでしょうか。万歩計は16000歩を示していました。どのポイントも、感動と新発見のコースでした。「イチゴ狩り」や「カヤックあそび」あるいは「餅つき」などとのコラボにより、すてきな周遊コースにできそうです。(課題は別紙で)



吉井採石場の中を歩く



発破炸裂の瞬間



五蔵大池に立つ



天望庵への道